6. にぎわいや利便性向上への取り組み

管理運営：（一社）御堂筋まちづくりネットワーク

壁面後退分でのキッチンカー出店

企画・運営：（一社）キッチンカーマルシェ協会

- 社会実験期間中、パークレット前の本町ガーデンシティ壁面後退部分において、熱々のピッツァやクレープ、ジェラート、ドリンク等の販売を行うキッチンカーを出店しています。

※ キッチンカーの出店日は、不定期となります。詳しくは（一社）御堂筋まちづくりネットワークのホームページをご確認ください。

https://www.midosuji.biz/

御堂筋パークレット社会実験 オープニングセレモニーの開催

令和元年8月1日

- 社会実験のスタートにあたって、地元地域代表の方々をはじめ、行政関係者、沿道ビル関係者の皆様招聘したオープニングセレモニーを開催しました。

パークレットを安全に管理を行うための各種取組み

（仮称）御堂筋パークレット社会実験〔本町編〕／発行：令和元年10月

大阪市建設局企画部企画課（道路空間再編担当）
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATC（ITM棟）6階　TEL：06-6615-6785

一般社団法人　御堂筋まちづくりネットワーク　事務局
〒541-0053 大阪市中央区本町4丁目1-13（株）竹中工務店内

（仮称）御堂筋パークレット社会実験

実施期間：2019.8.1～2020.1.8

本町編〔愛称名：いちょうテラス本町〕

パークレットとは、道路空間を活用してウッドデッキやベンチを配置し、にぎわいや憩いの空間の創出をめざし設置する休憩施設で、アメリカをはじめとした都市で取組まれています。車道及び歩道の一部を活用することによって創出された空間は、憩いとにぎわいを創出する新たなパブリックスペースとして利用されることに期待が持たれます。

大阪市建設局　一般社団法人 御堂筋まちづくりネットワーク

1. 社会実験実施の背景

2017年の実験では快適性や満足度など、総じて高い評価を確認。

- 2017年に実施した御堂筋完成80周年記念事業では、御堂筋の将来像を可視化するとともに、にぎわいと憩い空間のあり方などを検証するための社会実験として淀屋橋オドナ前の道路空間において休憩施設「パークレット」を設置しました。検証の結果、休憩施設そのものに対するニーズの高さをはじめ、快適性や満足度などについても総じて高い評価を確認しました。

場所の違いによるニーズや安全性とともに、御堂筋における広場空間や施設マネジメントのあり方を検証

- 前回の社会実験で検証ができなかった項目とともに、淀屋橋（西側歩道）と本町（東側歩道）といった場所の違いによるニーズや安全性を検証するため、社会実験として本町ガーデンシティ前の道路空間においてあらためて休憩施設の設置を行います。

2. 社会実験の概要

期　　間	2019（令和元）年8月1日（月）午前10時45分 ～2020（令和2）年1月8日（水）
場　　所	御堂筋本町ガーデンシティ前の歩道及び一部側道 （大阪市中央区本町3丁目6-4）
実施主体	大阪市建設局
連携団体	（一社）御堂筋まちづくりネットワーク
愛　称　名	「いちょうテラス本町」 ● 愛称名の「いちょうテラス本町」は、前回2017 年度の社会実験時に愛称募集を行い、応募総数93 件のなかから選考した「いちょうテラス淀屋橋」を、今回のパークレット設置場所である本町版としたものです。より多くの方に親しみを持っていただけるよう、今回の社会実験でも引き続きその愛称名を活用しています。

3. 安全対策

パークレットの構造

- パークレットは車道に張り出した形態となっているため、車両などが衝突しても安全を確保するガードパイプを内蔵した構造とするほか、パークレット前後にクッション材（樹脂製防護柵）の設置を行うとともに、夜間の視認性を確保する反射板の設置といった安全対策を行っています。

管理運営体制の構築（リスク・クライシスマネジメント）

- パークレットを安全に管理を行うため、公民連携による管理運営体制を構築しています。
- リスク管理に関する関係者会議を月1～2回開催し、トラブル発生の有無等の情報共有を行っています。

4. 検証内容

①にぎわいと憩い空間の創出方法の検証

- パークレットの休憩施設としての効果を確認するため、利用者や沿道地域などを対象としたアンケート調査を行い、利用に関する満足度やニーズなどについて検証を行います。

②交通影響・安全性の検証

- パークレットの設置による道路の通行機能への影響について調査を行い、歩行者、自転車、自動車がそれぞれ安全に通行できるか検証を行います。

③広告掲出のニーズや広告マネジメント等の検証

- パークレットの維持管理費の財源を確保するために、広告による収入について検討するため、パークレットにおける広告掲出のニーズについて確認するとともに、広告事業を通じた施設マネジメントの検証を行います。

④まちづくり団体による施設マネジメントの検証

- まちづくり団体が実施する本町ガーデンシティ敷地内でのキッチンカーイベントに合わせて、快適性を高めることを目的としてパラソルを設置します。

⑤年間を通じた検証

- 前回の社会実験は、秋から春にかけて実施しましたが、今回は夏から冬にかけて実施することにより、年間を通じたニーズや課題について検証を行います。

写真：（一社）御堂筋まちづくりによる
エリアマネジメント広告の実験

写真：事業者をはじめとした関係者による
パラソル設置のリハーサル

5. 実施スキーム

- 社会実験では、検証事業として広告事業やキッチンカーイベントに合わせたパラソルの設置を地元地域のエリアマネジメント団体である（一社）御堂筋まちづくりネットワークが行っています。
- 実施にあたっては、占用主体である大阪市建設局と（一社）御堂筋まちづくりネットワークにおいて「（仮称）御堂筋パークレット社会実験における運営及び維持管理に関する覚書」を締結し、覚書に記載している役割分担やリスク管理といったルールのもと事業検証を行っています。

**社会実験の
実施スキームイメージ図**